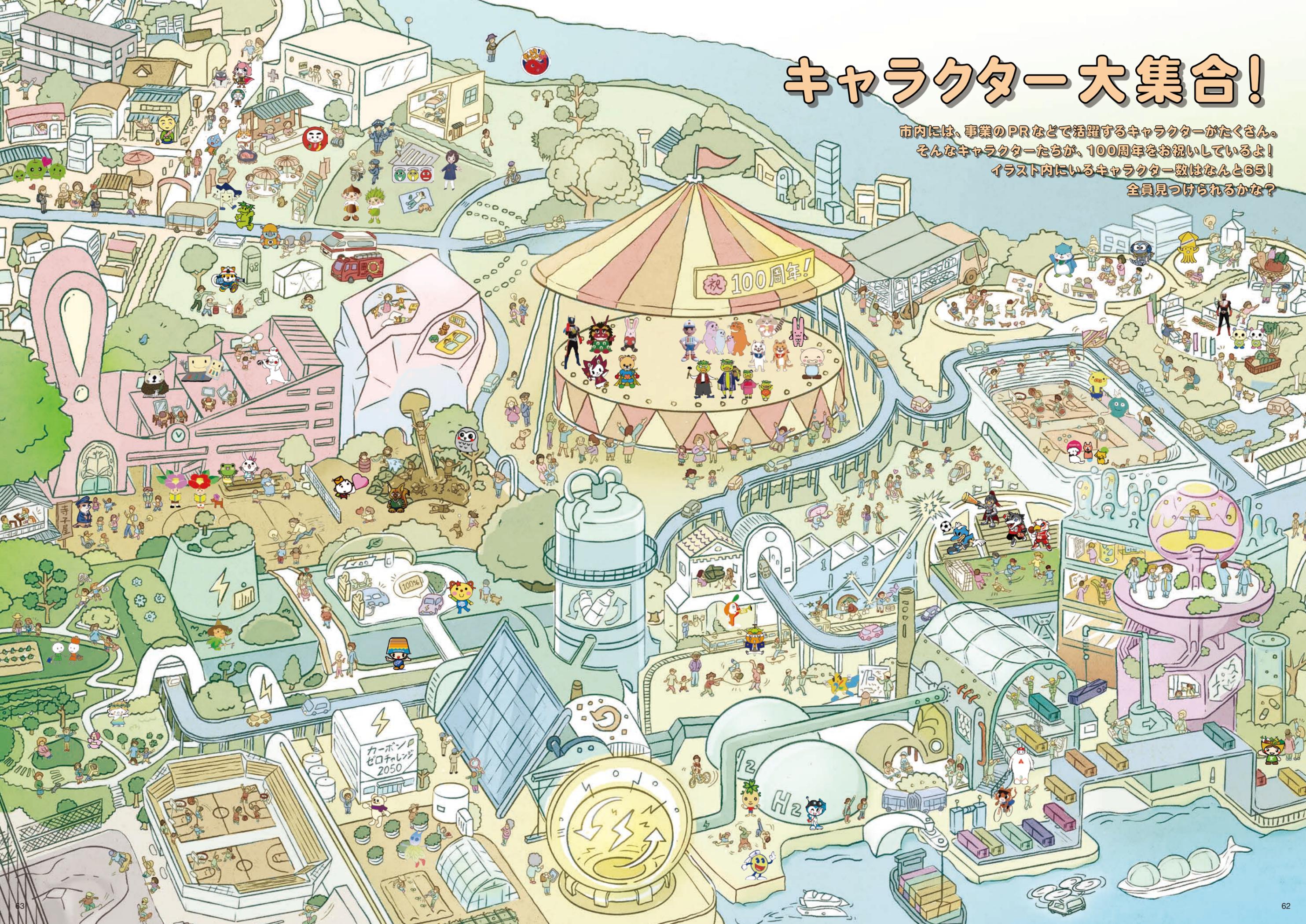


キャラクター大集合!

市内には、事業のPRなどで活躍するキャラクターがたくさん。
そんなキャラクターたちが、100周年をお祝いしているよ!
イラスト内にあるキャラクター数はなんと65!
全員見つけられるかな?



生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり

- 自然災害への対策はもちろん、いざという時に助け合える「顔の見える関係」づくりをサポートします。
- 超高齢社会でも、生き生きと安心して暮らし続けられるしくみをつくります。



川崎はつながり合って
安心できるまち!



地域包括ケアシステム構築の推進

誰もが安心して暮らし続けられるよう、セルフケアなどの意識づくりや、互いに支え合える地域づくり、必要とする人が適切な支援につながる仕組みづくりを推進します。

過去に学び、
未来につなげる!



災害に強いまちづくり

市民の災害死ゼロを目指し、建築物などの耐震化や消防力の総合的な強化などとともに、地域の防災訓練の支援や市民の防災意識を高める取り組みを進めています。



かわるん	川丸くん	かわさき ミュートン	かわさき ぶりん	かわさき ノルフィン	かわさき しんごくん	川崎君	仮面 ウォーカー タージマン	仮面 ウォーカー イクター	カッピー	カッチャン
生まれも育ちも川崎で3Rの大切さを伝える妖精。耳と体に3つのR	川崎マリエンと川崎港のマスクット。海で寝ていて気付いたら川崎港に	「音楽のまち・かわさき」推進協議会	生田緑地の地層(頭)とプラネタリウム(体)がモチーフ。科学館の広報担当	元気いっぱい、おちやめなバスの妖精。タイヤ型のゴーグルなどがポイント	市民の交通安全を見守っている。ランドセルカバーでもおなじみ	ちょっと難しそうだけど、わかりやすく紹介してくれる	遙かタージ星からやってきた、交通のルールを教育するヒーロー	生田地区町会連合会のキャラクター。町内会への加入促進などを行っている	安全で快適な水循環のPRをする上下水道局のキャラクター	カッパークワガタのキャラクター。頭の四つ葉のクローバーの葉はハート形

川崎市総合計画

私たちのまちのさまざまな所で、市の取り組みが行われています。

川崎市がどのようなまちを目指しているのか、そのために各取り組みをどのように進めていくのかは、「総合計画」に基づいています。さまざまな取り組みの中から、私たちの生活にとっても身近なものを一部ご紹介します。



SDGsと総合計画

持続可能な開発目標(SDGs(エスディーゼーズ))は、平成27(2015)年に国連サミットで採択された世界共通の目標で、令和12(2030)年までの達成を目指す17のゴールが掲げられています。川崎市は、SDGsの達成に向けた取り組みを積極的に進める「SDGs未来都市」として国から選定されており、川崎市総合計画に基づいて行われる各取り組みを通じて、SDGsのゴールの達成を目指しています。次ページから、総合計画に基づいて川崎市が取り組んでいる主な施策についてご紹介しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



川崎市総合計画



川崎市SDGsの取り組み



川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



キャラクターの詳細は市HPからチェック!

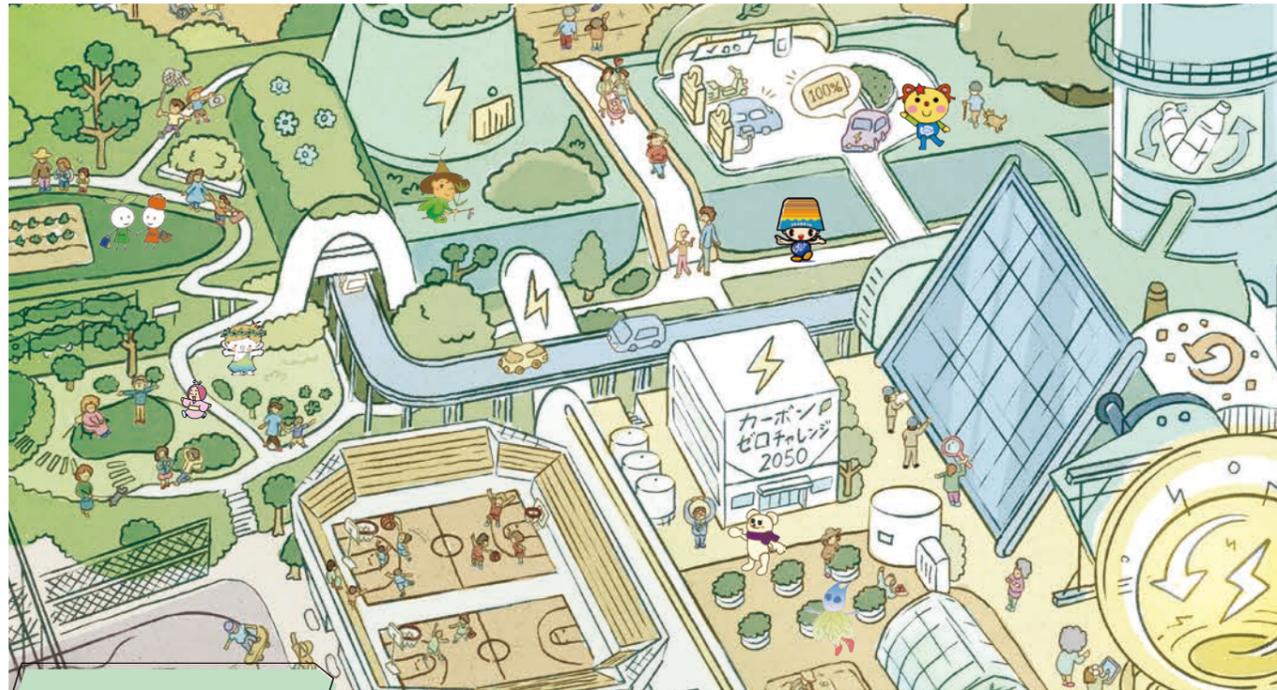
キャラクター紹介(50音順)



かきまるくん	およよん	エコちゃんず	梅ちゃん	うさびっぴー	ウォータン	イックン	いがぼろ	アレウス	あーすん & ころりゅう ころちゃん	あいちゃん
禅寺丸柿の魅力を広げ周知している。小・中学生の作品の中から選ばれた	「議会かわさき」広報キャラクター。市外局番「044」が名前由来	頭に葉っぱのろじいちゃんとお財布ののみいちゃん。エコ暮らしを目指す	高津のさんぼみちを見守る梅の妖精。高津区生まれの高津区育ち	心の健康づくりや自殺対策を推進。大きな耳で話をよく聴き、寄り添う	水道や下水道の情報や活動を伝える上下水道局のキャラクター	市民が親しみをもち、選挙について考え、投票してもらえるように活動	「いがぼろ」がモチーフ。さ「いが」への備えはせず、「ぼろ」っとしている	東芝プレイブアレウスのマスクット。「軍神」アレウスに由来している	川崎市国際交流協会の、地球と平和の使者ハートのキャラクター	川崎市地ケア広報キャラクター。地ケアを広めるためマンガを中心に活躍中

市民生活を豊かにする環境づくり

- 多摩川や貴重なみどりを守り、誰もが安らぎ、くつろげる環境づくりを行います。
- 地球環境に配慮し、市民一人ひとりのエコな行動を当たり前のものにしていきます。



気づけば誰でもエコライフ！



川崎未来エネルギー(株) 設立

市域への再生可能エネルギーの普及拡大と地産地消の推進

脱炭素社会の実現に向け、地域エネルギー会社「川崎未来エネルギー(株)」との連携や、建築物への太陽光発電設備などの導入促進により、市域への再生可能エネルギーの普及拡大と地産地消に向けた取り組みを推進しています。



まちの中に緑がいっぱい！

魅力ある公園緑地などの整備

地域特性に合わせた、誰もが利用しやすい魅力ある公園づくりを進めるとともに、全国都市緑化かわさきフェアを契機とした、多様なみどりを活用した取り組みを進めていきます。

はっぴーちゃん	ななふく	なかよし なっしーず	なかはら エコ推進大使 ロジちゃん	てるみへにや、いいかも、猫かぶり	つばきくん、つばきちゃん、つつじ犬	長寿郎	ちけあ丸	太助	たいしんちゃん
健康(Health)と幸福(Happy)の頭文字Hの形がモチーフという願いから	川崎市社会福祉協議会。7区ある川崎に幸福が集まるようにという願いから	中野島多世代つながり愛プロジェクトのキャラクター。小学生から募集	地球温暖化で溶けた米に乗って中原区に流れてきたホッキョクグマ	アニメなどで消費者被害やその防止策を分かりやすく教えてくれる	図書館のお知らせや読書の楽しさなどを伝える読書普及啓発キャラクター	市内で発見された「長十郎」梨(病気に強く日持ちする)がモチーフ	川崎区の地ケアのキャラ。名前の「丸」と丸い体は地域の輪を意味している	優れた嗅覚で火災の早期発見・救出に貢献する消防局のキャラクター犬	耐震化を普及啓発。旧耐震の家に住み、地震の発生にいつも不安がっている

子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

- 「子育てするなら川崎!」と思ってもらえるような、安心して子育てできる環境づくりを進めます。
- いつまでも学びたいという気持ちや生きがいを応援するためのネットワークをつくります。
- 夢に向かって歩き出す、子どもたちの未来を拓く学びを応援します。



誰一人取り残さない、きめ細かな教育を推進！



「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」の実現に向けて1人1台の端末を活用する「かわさきGIGAスクール構想」など、教育活動の充実に取り組んでいます。



まちぐるみで子育てを応援！

子育て家庭を社会全体で支える取り組みの推進

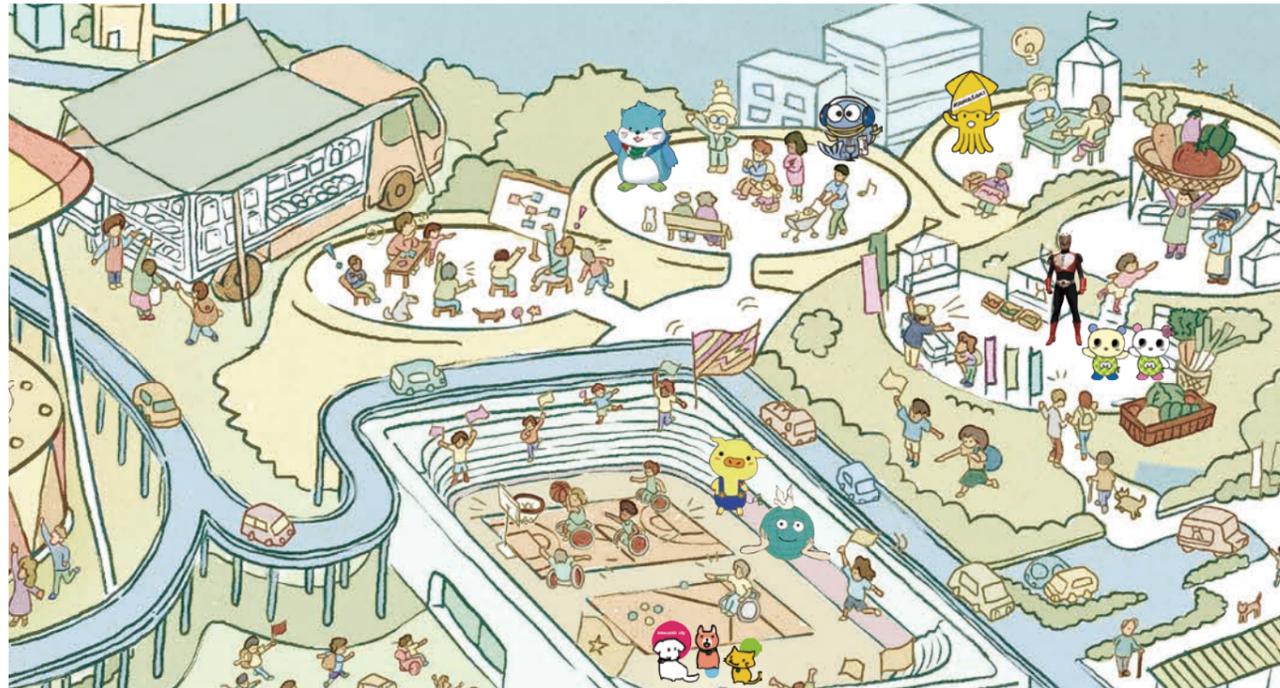
地域の中で子育て親子の交流の場や子育て情報の提供を行うとともに、さまざまな地域資源を活用しながら地域の身近な場所で相談・支援が受けられる体制の整備を進めています。

キャラクター紹介 (50音順)

スポッター	STEAM (ス टीम)	しょいくん	シッシー君	さばねこ (さくら、ぼーたー)	菜果ちゃん	ケットウセイ 親子	くり防	九ちゃん	ギーガ、パッド
子どもの体力向上を推進。楽しくスポーツをしながらスターになる!	NEC レッドロケットのマスケット。ロケットから噴射された蒸気により誕生	「食」という字をモチーフにした食育を推進するキャラクター	文化財保護推進キャラクター。市域3カ所に伝わる獅子舞から生まれた	地域猫活動サポーター制度を推進	市内農産物「かわさきそだち」をPRするために誕生した妖精	糖尿病予防など川崎区の健康に関する広報・普及啓発をサポートしている	「栗」がモチーフ。「防」災まちづくりに向けた取り組みを行っている	川崎競輪のキャラクター。九福神と9車9人でレースする「9車立て」が由来	かわさきGIGAスクール構想のキャラクター。タイピングが得意

誰もが生きがいを持てる 市民自治の地域づくり

□ みなさんのまちづくりへの積極的な参加を応援し、共に創りあげる地域社会をめざします。



めざせ！
やさしさの連鎖



© Taku Watanabe

かわさきパラムーブメントの推進

それぞれの個性を生かしながら、やさしさあふれる「かわさき」を目指し、障害の有無に関わらず、誰もが認めあい、共に生きる社会の実現に向けて取り組みを進めています。

新たな
交流の創出！



「参加と協働による地域課題の 解決の新たなしくみ」の構築

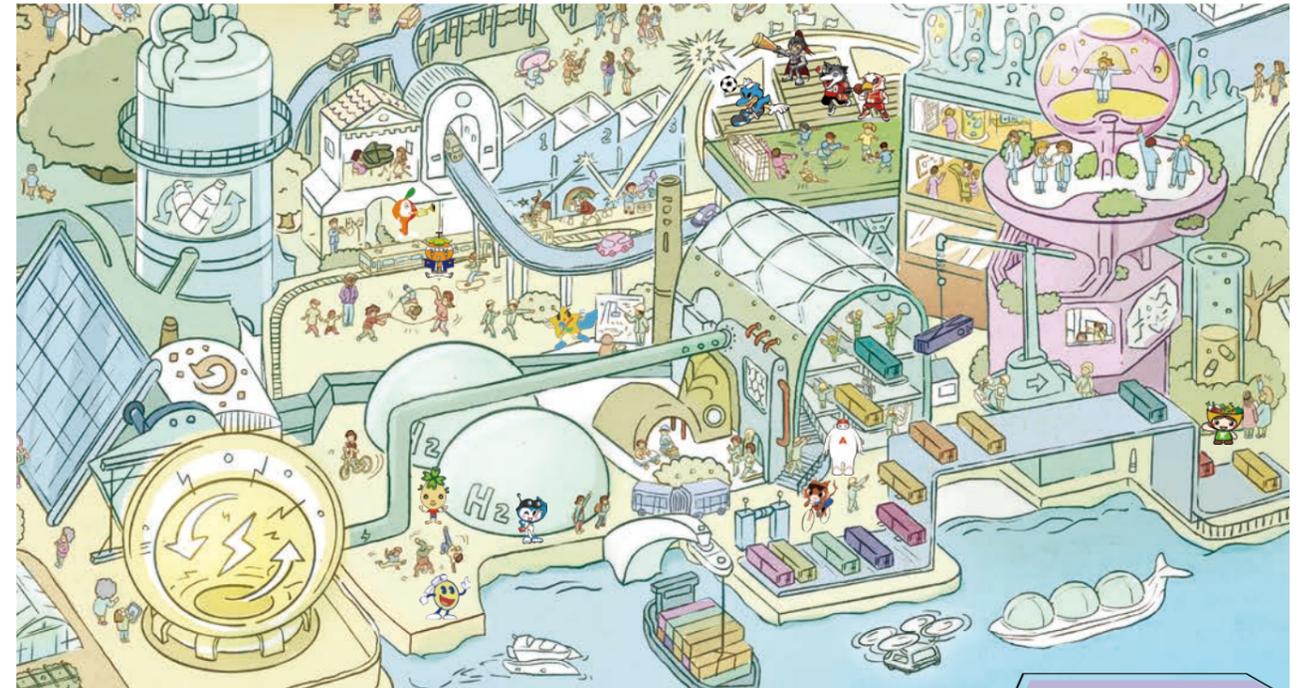
誰もが気軽に集える地域の居場所「まちのひろば」や、地域の人や団体をつなぎ、さまざまな取り組みを支援する「ソーシャルデザインセンター」の創出を進めています。



ロップ君 © KBT 葉っぱから落ちた一粒の滴から誕生。川や海の水をきれいにする大切さをPR	ロウル © Fujitsu 川崎ブレイブサンダースのマスコット。雷獣？の子供	レッディ © Fujitsu 富士通レッドウェーブのマスコット。いつでも一生懸命で準備万端な海鷲	リスハチくん 八ヶ岳少年自然の家のマスコットキャラクター	ラジボラちゃん かわさきFMのキャラクター。多摩川のボラにラジオ・ボランティアから命名	森の妖精モリオン 市民植樹運動を進める、森の神様に仕える森の妖精で、樹木の手入れが仕事	メルるん 教育だよりかわさき。わくわく、ルンルンする情報をメールに載せて運ぶ	みんかつぱ 日本民家園のキャラクター。同園SNSなどで活躍中	宮前兄妹メロー・コスミン 区名産「宮前メロン」の畑からやってきた、双子の仲よし兄妹	ミミ・ケロ 好奇心旺盛でしっかりもの。ミミと、元気いっぱいいたずらっこのケロ	緑の妖精グリーンピー 都市緑化を推進するため、空のななから楽しい夢を運んできた緑の妖精
--	--	--	---------------------------------	--	--	---	-----------------------------------	--	---	--

活力と魅力あふれる力強い都市づくり

- 世界をリードする川崎のビジネスを、力強くサポートします。
- 首都圏の中で便利につながり、魅力ある暮らしやすいまちをつくりまします。
- スポーツや文化活動が盛んなワクワクできるまちを、未来へとつなぎます。



若い世代が
集いにぎわうまち！



若者文化の発信によるまちづくりの推進

ブレイキンやダブルダッチ、スケートボード、BMXなどの若者による文化を活用し、若い人たちが集い、自らの可能性を広げるための環境づくりを進めています。

日本のカーボン
ニュートラル化をリード！



臨海部の持続的発展と日本の成長を 牽引する戦略拠点の形成

扇島地区では水素を軸としたカーボンニュートラルと新たな産業創出の同時実現を目指し、このエリアが我が国におけるコンパクト再編のモデルケースとなるよう取り組みを進めています。

キャラクター紹介 (50音順)



ミーア 子どもたちの安全を守るミーアキャット。目力と視力をいかしてパトロール	まーるちゃん たまたま子育てまつりの人気者。のんびりまったり動きは遅いが回ると速い	まなぶくん・つなぐちゃん・まもるくん 動物愛護センターのいのちをまなぶ・つなぐ・まもるを市民に伝えている	まえにさん 風しんから赤ちゃんを守る使命がある。抗体検査は妊娠する「まえに」	ほっとん 福祉の仕事に就く「HOTな」志と、仕事が見つかり「ほっとする」から	ぼうサイくん 「サイ」をモチーフにした頭振り屋さん。リュックには、防災アイテムが	フロンティアー © Fujitsu 富士通フロンティアーズのマスコット。剛健で闘争心を兼ね備えた狼	ふろん太 © KAWASAKI FRONTALE 川崎フロンタールのマスコット。「イルカ」をモチーフとしている	ぶたつくす 市税キャラクター。口座振替による市税の納付を呼びかける	ふくまっち 福祉のまちづくり条例普及啓発キャラクター	ハムツップ店長 市内にある「レストラン☆ほし」の店長で、食品安全を推進。5人家族
---	--	---	---	---	---	---	---	--------------------------------------	-------------------------------	---

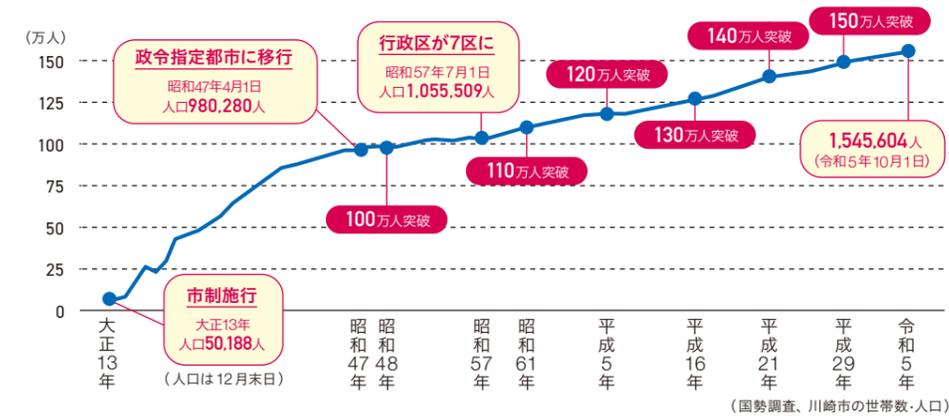
7つの行政区、まちのカラーがいろいろ!

<h3>川崎区</h3> <p>人口 231,030人 面積 40.25km² 平均年齢 45.8歳</p> <p>特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東海道川崎宿 ● キングスカイフロント ● 外国人市民が最も多い など 	<h3>幸区</h3> <p>人口 172,021人 面積 10.09km² 平均年齢 44.7歳</p> <p>特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内会・自治会加入率が最も高い ● ミューザ川崎シンフォニーホール ● 夢見ヶ崎動物公園 など 	<h3>中原区</h3> <p>人口 266,655人 面積 14.81km² 平均年齢 41.9歳</p> <p>特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人口が最も多い ● 平均年齢が最も若い ● 等々力陸上競技場(Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu) など
<h3>高津区</h3> <p>人口 234,839人 面積 17.10km² 平均年齢 44.0歳</p> <p>特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 脱炭素アクションみぞのくち ● 歌人・岡本かの子を輩出 ● ニヶ領用水久地円筒分水 など 	<h3>宮前区</h3> <p>人口 235,002人 面積 18.60km² 平均年齢 45.3歳</p> <p>特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生産緑地面積が最も広い ● 東名川崎インターチェンジ ● 影向寺・影向寺遺跡(橋樹官衙遺跡群) など 	<h3>多摩区</h3> <p>人口 225,380人 面積 20.39km² 平均年齢 44.0歳</p> <p>特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学(専修・明治・日本女子)との連携 ● 川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム ● 生田緑地 など
<h3>麻生区</h3> <p>人口 180,677人 面積 23.11km² 平均年齢 46.7歳</p> <p>特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公園緑地面積が最も広い ● 芸術・文化のまちづくり ● 禅寺丸柿 など 	<h2>Q2 昭和47(1972)年に政令指定都市に移行した川崎市。当初は5区(川崎区、幸区、中原区、高津区、多摩区)でスタートしました。各区の名称は一般公募で決定しましたが、実は川崎区は他の名称が1位でした。それは何でしょう?</h2> <p>A 港区 B 中央区 C 南区</p>	

令和5年10月1日現在(川崎市の世帯・人口、川崎市年齢別人口)

人口154万人を超えるまち

川崎市は大正13年に人口約5万人でスタート。政令指定都市に移行した翌年の昭和48年には100万人を超え、平成29年には150万人を突破。現在の人口は154万人を超え、当初の30倍以上になりました。大都市の中で、7番目に人口の多いまちです。



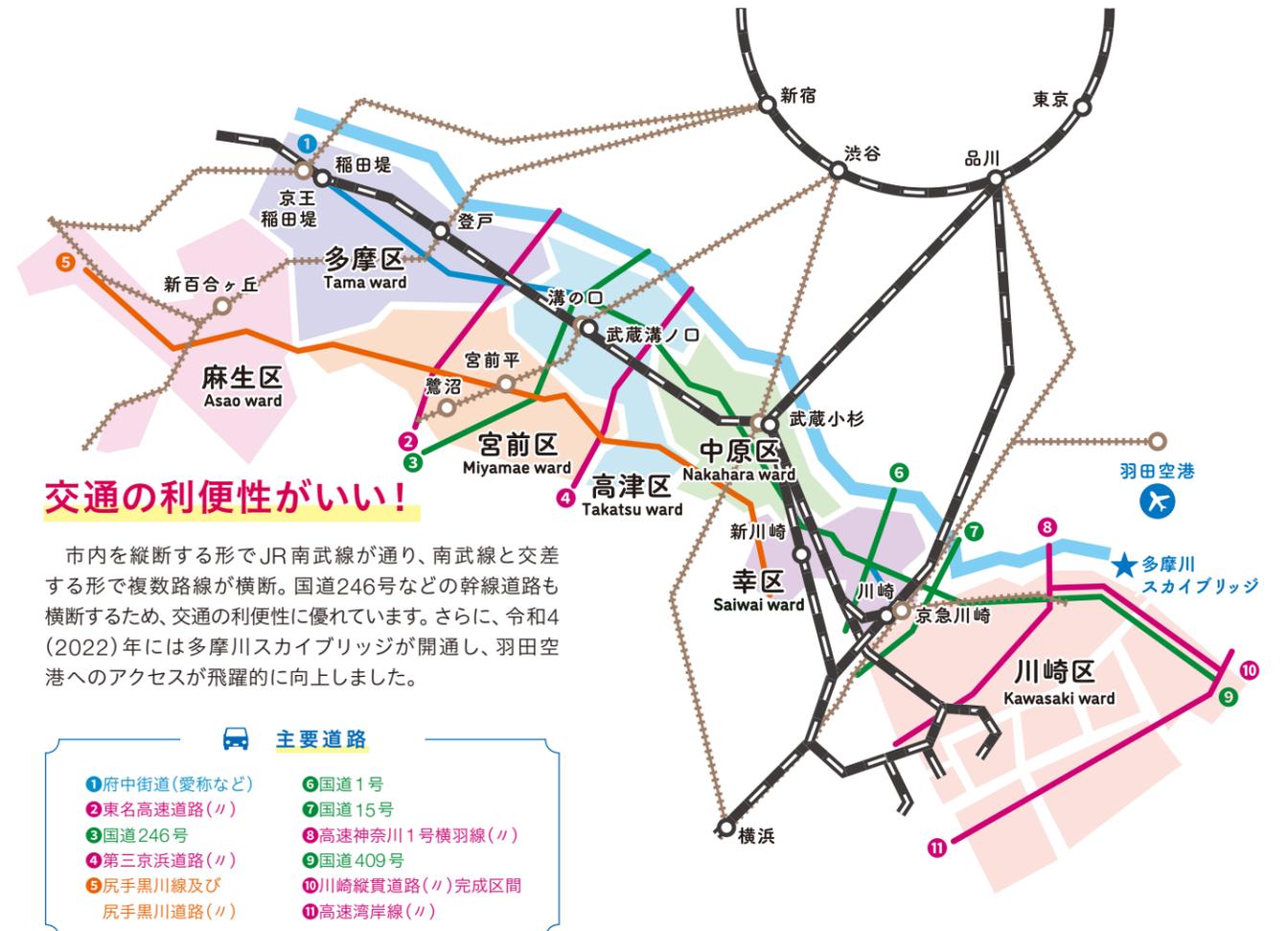
Point
現在の川崎の形ができたのは昭和14年

明治から昭和にかけて全国的に行われた町村合併。現在の麻生区や都筑区あたりにあった武蔵国都筑郡の村々のうち、柿生村と岡上村が川崎市への合併を決定。昭和14(1939)年に川崎市へと編入され、埋め立て地を除いて現在の市域に近い形ができました。

令和6年度当初予算			
一般会計	特別会計	企業会計	合計
8,712億3,370万円	4,889億9,590万円	2,301億3,966万円	1兆5,903億6,925万円

クイズでもっと知る 川崎ってどんなまち?

面積は144.35km²、横浜市と東京都に挟まれた細長い地形。交通アクセスに優れ、若い世代がたくさん暮らすまち。住みたくなる魅力がいっぱいのまちの秘密をクイズとともに読み解いていきます。◎クイズの答えはP73の一番下に!



Q1 川崎市内の駅で1日平均の乗車人数が多い駅は? 1~3位だと思ふ駅を線で結んでください。

1位(162,712人) ● ● JR川崎駅
2位(110,569人) ● ● JR武蔵小杉駅
3位(91,146人) ● ● 東急溝の口駅

電車でアクセス

川崎	品川	約9分
川崎	横浜	約8分
京急川崎	羽田空港	約16分
武蔵小杉	渋谷	約13分
溝の口	渋谷	約14分
登戸	新宿	約16分
京王稲田堤	新宿	約23分

(川崎市統計書 令和4年版)

※利用する電車、時間により異なります。

産業が盛んなまち

従業者1人当たり製造品出荷額等は大都市の中で最も多く、業種別では化学工業の製造品出荷額等が9,025億円と第1位！

従業者1人当たり製造品出荷額等



化学工業の製造品出荷額等



地産地消が進むまち

消費者に直接販売している農作物の金額が最も多い経営体数の割合が高く、新鮮・安全な「かわさきそだち」を市民や消費者が安心して購入しています。



働く人が多いまち

大都市の中で有業率(15歳以上の有業者の割合)は2位、離職率(離職者の1年前の有業者に占める割合)は最も低くなっています。



Q4 働く人が多いまち、かわさき。川崎市には多種多様な事業所があります。川崎市の事業所割合が大都市の中で1位なのはどれでしょうか？(複数回答可)

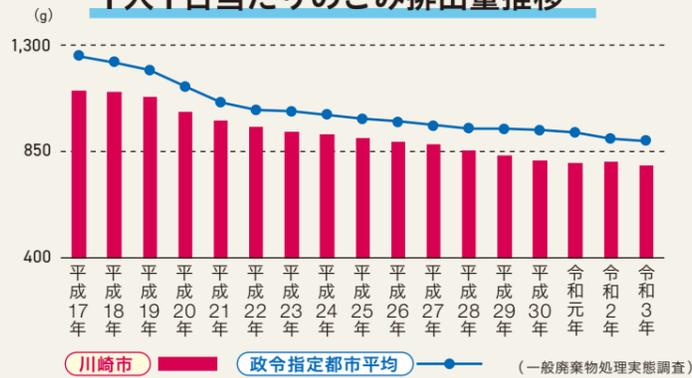
- A** 園芸サービス業
- B** 学術・開発研究機関
- C** 中華料理店
- D** ビヤホール
- E** 不動産賃貸業・管理業
- F** 焼肉店

(令和3年経済センサス-活動調査)

ごみ排出量の少ない、環境にやさしいまち

1人1日当たりのごみ排出量は減少傾向にあり、政令指定都市平均を毎年下回っています。

1人1日当たりのごみ排出量推移



脱炭素社会を目指して

これまで「普通ごみ」として収集・焼却していた「プラスチック製品」を「プラスチック製容器包装」と一緒に収集してリサイクルする取り組みが始まります(令和6年4月に川崎区で開始、令和7年度に幸区・中原区まで拡大、令和8年度以降市内全域で実施)。焼却すると温室効果ガスを大量に排出するプラスチック。リサイクルを進めることで、脱炭素社会の実現に大きく貢献できます。

Q5 日本屈指のごみ処理先進都市でもある川崎市が初めて導入したのは次のうちどちらでしょうか？

- A** ごみの鉄道輸送
- B** EVごみ収集車

【Q1】1位JR川崎駅、2位東急蒲田駅、3位JR武蔵小杉駅、中央区は方位的な視点で難点があり、「中核的機能を担った地区として川崎区に決定しました。」【Q3】大都市の中で19位(治安が悪いイメージがありますが、安全・安心なまちなのです。)【Q4】①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳【Q5】①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

若い人がたくさん住むまち

※大都市=政令指定都市+東京都区部

出生率



川崎市の出生率は大都市の中でも高く、令和3年は12,279人の赤ちゃんが誕生しました。
(令和3年大都市比較統計年表)

平均年齢



大都市で最も若い！
全国平均の47.6歳と比べて、約4歳若くなっています。
(令和2年国勢調査)

Point
平均年齢は若いのに、ご長寿日本一の区も！
厚生労働省が発表したデータによると、麻生区は男女とも最も長寿のまち。その秘密は、都市部にありながら緑が多く、区民の健康意識も高いからだと考えられています。

安全・安心なまち

防犯灯のLED化や地域パトロールなどの防犯対策の強化に加え、自転車の安全利用促進や各世代に対する交通安全教育などを通し、日々の暮らしにおける安全と安心の確保に取り組んでいます。

100台の防犯カメラがまちを見守る

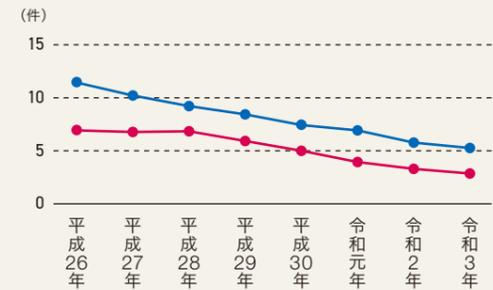
次のデータが示すとおり、安全・安心なまちづくりが進んでいる川崎市ですが、実態とは異なるイメージを持つ人もいるため、安全・安心なまちであることを感じてもらうために川崎駅東口に70台、西口に30台の防犯カメラを取り付けました。

自然増加比率



総人口に占める出生数と死亡数の差の割合である自然増加比率は大都市の中で昭和61年から36年連続1位。
(令和3年大都市比較統計年表)

人口千人当たり刑法犯認知件数



人口10万人当たり交通事故発生件数



Q3

人口千人当たり刑法犯認知件数が大都市平均より低い川崎市。「刑法犯認知件数」とは、警察などによって犯罪の発生が認知された件数のことです。では、大都市の中で川崎市の「刑法犯認知件数」の順位は次のうちどれでしょうか？(件数が少ないほど順位は低い)

- A** 10位から12位
- B** 13位から15位
- C** 16位から18位
- D** 19位から21位

(令和3年大都市比較統計年表)

年表でみる川崎の歴史

令和6年7月に市制100周年を迎える川崎市。
今から約100年前にはすでに臨海部の工業用地が生まれており、一方、内陸部は戦後以降に都市化が進みましたが、豊かな自然は今も残されています。
そんな川崎市のこれまでを、写真と共にたどります。
過去を知ることが、次の100年へとつながるきっかけになるかもしれません。

1623 E 川崎宿が整備される

1601(慶長6)年、徳川幕府によって「宿駅伝馬制度(街道沿いに宿場を設けて人や馬を常備させ、公用の旅人や物資をリレー形式で送り継ぐ制度)」が東海道に敷かれました。川崎宿起立以前、両隣の品川・神奈川両宿の距離は約20kmあり、大きな負担がかかっていたことから、負担軽減のため1623(元和9)年、3代将軍家光によって川崎宿が開設されました。2023(令和5)年には、川崎宿の起立400年を記念したさまざまな行事が地域主体で開催され、大きな盛り上がりを見せました。



出典：国立国会図書館ウェブサイト

1921 F 川崎初の水道完成



1924 G 川崎市誕生



提供：川崎市市民ミュージアム

1929 H 新鶴見操車場完成

かつて東洋一の規模を誇った操車場で、跡地に整備された新川崎・創造のもりには慶応義塾大学の新川崎タウンキャンパスなどがあります



提供：川崎市市民ミュージアム

1950 L 市営バス営業開始



1944 I 市電開通

市電の開業で始まった川崎市交通事業は、2024(令和6)年に80周年を迎えます



提供：川崎市市民ミュージアム

約3万数千年前	1934年頃	1180(治承4)年	1611(慶長16)年	1623(元和9)年	1702(元禄15)年	1725(享保10)年	1857(安政4)年	1872(明治5)年	1883(明治16)年	1889(明治22)年	1899(明治32)年	1905(明治38)年	1910(明治43)年	1913(大正2)年	1916(大正5)年	1921(大正10)年	1923(大正12)年	1924(大正13)年	1925(大正14)年	1926(大正15)年	1927(昭和2)年	1932(昭和7)年	1933(昭和8)年	1934(昭和9)年	1935(昭和10)年	1937(昭和12)年	1938(昭和13)年	1939(昭和14)年	1940(昭和15)年	1941(昭和16)年	1942(昭和17)年	1944(昭和19)年	1945(昭和20)年	1949(昭和24)年	1950(昭和25)年	1951(昭和26)年																					
川崎市域で人の営みははじまる	川崎の旧地名「橋花」が『日本書紀』の中に登場	稲毛三郎重成が鎌倉入りを果たす	二ヶ領用水が完成、今日の細長い市域を形づくる基となる	川崎宿が整備される	赤穂浪士の大石内蔵助らが下平間村に滞在する	田中丘隅が多摩川の改修工事を行う	アメリカ総領事ハリスが江戸へ行く途中で川崎宿の万年屋に宿泊し、川崎大師を訪れる	品川横浜間鉄道の開通に伴い、川崎停車場(川崎駅)開設	六郷橋が架けられる	市制・町村制が施行、川崎地域は1町14村に改編	大師電気鉄道(京急大師線)が六郷橋〜大師間で開通	京浜電気鉄道(京急本線)が品川〜神奈川間で開通	多摩川の大洪水により六郷橋が流失	浅野総一郎が鶴見川から扇町に至る埋め立て事業に着手	日本鋼管が田島村にできる	第一次世界大戦が始まる	合資会社鈴木商店川崎工場(味の素)が川崎町にできる	多摩川築堤を求めて「アミガサ事件」が起こる	多摩川に「有吉堤」がつくられる	川崎社会館(初の社会福祉施設)が川崎町堀之内に開館	川崎初の水道が完成	関東大震災が起こる	川崎町・御幸村・大師町を合併し、川崎市誕生(人口48,394人)	初代市長に石井泰助が就任	二子橋が架けられる	六郷橋が架けられ、新国道(第一京浜国道)が開通	2月 東京横浜電鉄(東横線)が丸子多摩川〜神奈川間で開通	3月 南武鉄道が川崎〜登戸間、矢向〜川崎河岸間で開通	4月 川崎市初の県立中学校である神奈川県立川崎中学校(現在の県立川崎高等学校)が創立	4月 田島町、市に編入	4月 小田原急行電鉄が新宿〜小田原間で開通	4月 川崎市最初のメーデーが稲毛神社で行われる	7月 玉川電気鉄道が玉川〜溝ノ口間で開通	8月 新鶴見操車場が完成	8月 中原町、市に編入	5月 市制10周年を記念し、市歌を制定	5月 丸子橋が架けられる	4月 高津町・白吉村の一部、市に編入	6月 橋村、市に編入	2月 旧市庁舎が完成	10月 稲田町・生田村・宮前村・向丘村、市に編入	4月 柿生村・向上村、市に編入	7月 全国初の公営工業用水道完成	9月 第二次世界大戦が始まる	11月 大師橋が架けられる	5月 富士見公園ができる	2月 平賀栄治が円筒分水を造る	4月 南武鉄道が国有化	8月 児童集団疎開が始まる	10月 市電開通(1969年廃止)	10月 川崎市中央市場を開設	4月 川崎大空襲、市街地焼失	4月 多摩川大橋(第二京浜国道)が架かる	5月 市政時報(現在の市政だより)創刊	12月 市営バス営業開始	3月 労働会館が開館	6月 市が川崎港の港湾管理者になる

1180 A 稲毛三郎重成が鎌倉入りを果たす

稲毛三郎重成は、源頼朝が挙兵した当初は平氏方として敵対していましたが、同じ秩父一族である畠山重忠と共に頼朝の御家人となり、鎌倉入りを果たしました。その後、数々の合戦に参加するなど活躍しました。頼朝が鎌倉に幕府を開いた頃、枳形山(現在の生田緑地内)に枳形城が築かれ、後に城主となりました。また、頼朝の妻・北条政子の妹を正妻に迎え、頼朝と義兄弟となるなど厚い信頼を得て頼朝を支えていきました。



枳形城址碑(生田緑地内)

1872 C 川崎停車場(川崎駅)開設



1899 D 大師電気鉄道開通



1913 E 浅野総一郎が鶴見川から扇町に至る埋め立て事業に着手

浅野総一郎が埋め立てた場所には同氏の名前が残されています

- 川崎区浅野町
- JR鶴見線浅野駅



資料提供：東亜建設工業株式会社

1945 K 川崎大空襲、市街地焼失



昭和20年4月15日夜、かすりの着物を着てくつろいでいたところ、空襲警報の発令とともに爆撃が始まりました。町会長が「早く逃げろ」と飛び込んできて、両親と3人で手をつなぎ、家を飛び出しました。多摩川の方に向かいましたが、右から左から人がワッときて人の波がぶつかり、人が持ち上がっている様子を見て驚きました。駅前の防空壕へと向かうと、焼夷弾が東芝堀川町工場へほとんど落とされ、このままでは危ないと、富士見公園の中にあつた清水池に火と煙をかき分け逃げました。清水池についてほっとしていると、周囲の炎で辺りが真空状態になり、水がせり上がって、気づいたら池に引き込まれていました。本当に信じられない体験でした。空襲後の姿は、見渡す限り焼け野原でしたが、私の母校である鉄筋コンクリート造りの宮前小学校、レング造りの電話局、そして市役所だけが残っていて、川崎駅から房総半島がよく見えました。この景色は鮮明に記憶に残っていて、今でも目に浮かぶ光景です。戦後復興期、川崎は工場街だったので、全国から人が集まってきました。川崎市は新しい人が馴染みやすい土壌があり、下町的な雰囲気もあります。文化不毛の地と言われた川崎も、次から次に新しい人が入ってきて、みんなでまちを盛り上げ、今ではスポーツのまち、音楽のまち、文化のまちとなっています。そういったさまざまな魅力がさらに人を呼び込んでいます。時代を捉えてみんながまちを盛り上げている、そんな川崎になっていると感じます。これからも川崎は常にフレッシュなまちであり続けていくはず。次の100年、若い人たちがそういった先人の意思と文化を大切に受け継ぎ、日本中から川崎に来たいと思ってもらえるように、住みやすいまちづくりに頑張ってもらえたらと思います。



川崎市観光協会会長 齋藤丈夫さん(95歳)



1983 L 中原平和公園が開園
1992 P 平和館が開館



1979 J 川崎市民プラザ開館



1982 K 中央卸売市場北部市場を開設

1976 H 全国初の環境アセスメント条例制定

公害問題に対しては、公害防止条例の整備や事業者による公害防止技術の導入などが進められましたが、これら是对症療法的な手段でした。環境被害の未然防止のため、昭和44(1969)年にアメリカが世界最初の環境影響評価制度を制定しましたが、日本では立法化が進みませんでした。川崎市では産業活動、宅地開発などによる環境問題から未然防止の必要性が高まり、関係住民の意見も取り入れて事前に環境影響の評価を行う制度の検討を進め、昭和51(1976)年に全国初となる環境アセスメント条例を制定しました。その後、全国の地方自治体で条例化が進み、平成9(1997)年には国において環境影響評価法が制定されました。

これは、市民生活に直接影響する環境問題に対し、具体的な対応が求められる地方自治体が、国の法制化に先んじて行った施策の代表例といえます。

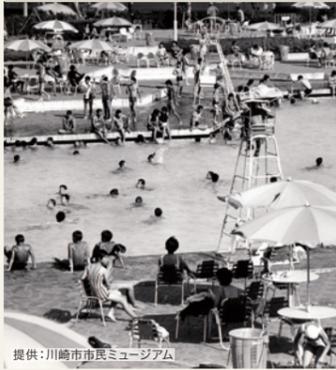


1965 B 市旗を制定する

1965(昭和40)年6月18日、川崎市旗が公示されました。旗の中心に描かれた市き章は、川崎市が誕生した翌年の1925(大正14)年には公示されていましたが、市旗が制定されたのはそれから40年が経過してから。市き章の3線は、川崎市の「川」の字をとっており、市民の歴史とともに流れ続ける多摩川と、それと同じように発展する「川崎」を象徴しています。「地は白地、市き章はあい色」という配色や、旗の大きさに対する市き章の大きさ・中心の位置なども制定時に細かく定めています。

1968 E 鷺沼プール完成

施設の老朽化などにより2002(平成14)年度に廃止。跡地は「カッパーク鷺沼」になっています



1961 A 市役所第2庁舎完成

1965 C 第三京浜国道完成



- 1994(平成6)年
- 1993(平成5)年
- 1992(平成4)年
- 1991(平成3)年
- 1990(平成2)年
- 1989(平成元年)
- 1988(昭和63)年
- 1987(昭和62)年
- 1986(昭和61)年
- 1985(昭和60)年
- 1984(昭和59)年
- 1983(昭和58)年
- 1982(昭和57)年
- 1981(昭和56)年
- 1980(昭和55)年
- 1979(昭和54)年
- 1978(昭和53)年
- 1977(昭和52)年
- 1976(昭和51)年
- 1975(昭和50)年
- 1974(昭和49)年
- 1973(昭和48)年
- 1972(昭和47)年
- 1971(昭和46)年
- 1970(昭和45)年
- 1969(昭和44)年
- 1968(昭和43)年
- 1967(昭和42)年
- 1966(昭和41)年
- 1965(昭和40)年
- 1964(昭和39)年
- 1963(昭和38)年
- 1962(昭和37)年
- 1961(昭和36)年
- 1960(昭和35)年
- 1957(昭和32)年
- 1955(昭和30)年

- 10月 国際交流センター開館
- 8月 市役所第3庁舎完成
- 3月 全国初のエレベーター付き歩道橋、「川崎ハローブリッジ」開通
- 1月 7区のシンボルマークが決まる
- 7月 日本民家園の本館などが完成、一般公開
- 7月 環境基本条例施行
- 5月 ドイツ・リューベック市と友好都市提携
- 4月 オーストリア・ザルツブルク市と友好都市提携
- 4月 平和館が開館
- 3月 川崎マリエン(港湾振興会館)が開館
- 8月 黒川青少年野外活動センター開館
- 12月 JR南武線(武蔵小杉駅)第三京浜国道交差部間の高架化が完成
- 11月 市民オンブズマン制度創設
- 7月 イギリス・シェフィールド市と友好都市提携
- 3月 JR川崎駅西口広場完成
- 7月 かながわサイエンスパーク(KSP)オープン
- 11月 市民ミュージアム開館
- 7月 産業振興会館が開館
- 6月 ふれあい館が開館
- 5月 オーストラリア・ウーロンゴン市と姉妹都市提携
- 9月 中国式庭園「潘秀園」が開園
- 10月 川崎地下街アゼリア誕生
- 11月 中国式庭園「潘秀園」が開園
- 10月 公文書館が開館
- 10月 情報公開制度実施
- 1月 中原平和公園が開園
- 7月 宮前区・麻生区誕生(7区制へ)
- 7月 中央卸売市場北部市場を開設
- 6月 核兵器廃絶平和都市宣言
- 8月 中国・瀋陽市と姉妹都市提携
- 10月 第10回国民体育大会秋季大会が神奈川県下で開催(市で5種目競技実施)
- 9月 市の人口50万人突破
- 8月 法政二高が甲子園で初優勝
- 8月 臨海部に石油コンビナートが形成される
- 10月 市役所第2庁舎完成
- 8月 東海道新幹線開業・東京オリンピック開催
- 6月 市旗を制定する
- 12月 第三京浜国道完成
- 4月 東急田園都市線が溝の口から長津田まで延伸し、開通
- 5月 京浜急行線川崎駅前の高架化が完成
- 3月 産業文化会館が開館
- 4月 日本民家園が開園
- 7月 等々力陸上競技場完成
- 7月 鷺沼プール完成
- 3月 市電廃止
- 8月 市内で初の光化学スモッグ発生
- 5月 人間都市川崎へ。伊藤三郎市長就任
- 8月 青少年科学館が開館
- 4月 政令指定都市になる(川崎区・幸区・中原区・高津区・多摩区の5区が誕生)
- 9月 川崎市公害防止条例施行
- 5月 市の人口100万人突破
- 4月 夢見ヶ崎動物公園が開園
- 6月 小田急多摩線新百合ヶ丘〜小田急永山間が開通
- 11月 公害補償協定に調印
- 12月 市民の花「つつじ」、市民の木「つばき」制定
- 10月 全国初の環境アセスメント条例制定
- 6月 クロアチア・リエカ市と姉妹都市提携
- 11月 第1回かわさき市民祭りを開催
- 5月 川崎市民プラザ開館
- 6月 アメリカ・ボルチモア市と姉妹都市提携
- 10月 横須賀線新川崎駅が誕生



1992 G 川崎マリエンが開館
「マリエン」は「マリ」和「エントランス」を合わせた造語



1988 N 産業振興会館が開館



1993 G 「川崎ハローブリッジ」開通



1986 M 川崎地下街アゼリア誕生

日本最大級の売場面積を誇る地下商業施設「アゼリア」。1日平均27万人が往来する人気スポットですが、実はオープンが危ぶまれていた時代もありました。というのも、アゼリアの開発工事が始まる1年ほど前に、静岡駅前地下街で重軽傷者199人を出すガス爆発が発生。地下街の安全性が問われ、その後10年間は建設が抑制されたのです。「今後、地下街は一切つくれないだろう」と噂されるほどでしたが、厳しい建設基準をクリアし、1986(昭和61)年にアゼリアが誕生しました。



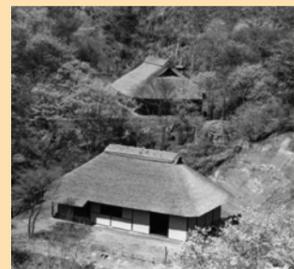
1974 G 夢見ヶ崎動物公園が開園



1972 F 政令指定都市に



1978 I 第1回かわさき市民祭り



1967 D 日本民家園が開園

日本民家園の始まりは、「伊藤家住宅」という1軒の古民家からでした。伊藤家住宅は江戸時代に名主を務めたとされる豪農の家で、当初は横浜市にある三溪園に移築されることが決まっていた。しかし、この貴重な文化遺産を地元で保存すべきだという声が上がると、生田緑地へ移築保存するための運動が起こります。難しい状況でしたが、古民家を幅広く保存するため文化財建造物の野外博物館をつくるという形で川崎市での保存が認められ、日本民家園が誕生したのです。



2017 L
川崎フロンターレのJ1リーグ初優勝を記念し、優勝パレードを開催

2015 J
橋樹官衙遺跡群が川崎市初の国史跡に指定



Colors, Future!
いろいろって、未来。

多摩川は、水たかき。多摩川は、多摩川。川崎は、1色ではあきません。あきらかに、あきらかに、あきらかに。あきらかに、あきらかに、あきらかに。あきらかに、あきらかに、あきらかに。



2016 K

市のブランドメッセージを策定
川崎は、多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力と価値を生み出すことができるまちを目指していく、という意味が込められています



2013 I
殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」まちびらき

「キング」は「Kawasaki INnovation Gateway」の頭文字と「殿町」という地名に

由来し、「スカイフロント」は羽田空港の目の前という立地や世界とのつながりを表しています。世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点で、約40haに及ぶエリアには健康、医療、福祉、環境などの分野の機関が集積している他、世界初の「水素ホテル」も。多摩川スカイブリッジの開通で羽田空港から車で約5分と、さらなる国際的なビジネス拠点の形成や競争力のある事業展開が期待されます。



2004 O ミューザ川崎シンフォニーホール開館(市制80周年)
クラシック音楽を中心とした、アコースティックな演奏に最適な音響空間は、世界的な音楽家たちからも高い評価を得ています



1999 C 岡本太郎美術館が開館

1996 A

外国人市民代表者会議開始



1997 B

東京湾アクアライン開通

川崎市～木更津市を結ぶ高速道路のうち、海底トンネルは川崎側の約9.5kmで、世界で一番長い海底道路トンネルです

2025 (令和7)年	2024 (令和6)年	2023 (令和5)年	2022 (令和4)年	2021 (令和3)年	2020 (令和2)年	2019 (平成30)年	2018 (平成29)年	2017 (平成28)年	2016 (平成27)年	2015 (平成26)年	2014 (平成25)年	2013 (平成24)年	2012 (平成23)年	2011 (平成22)年	2010 (平成21)年	2009 (平成20)年	2008 (平成19)年	2007 (平成18)年	2006 (平成17)年	2005 (平成16)年	2004 (平成15)年	2003 (平成14)年	2002 (平成13)年	2001 (平成12)年	2000 (平成11)年	1999 (平成10)年	1998 (平成9)年	1997 (平成8)年	1996 (平成7)年
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	-------------

3月	10月	7月	11月	6月	12月	4月	3月	11月	10月	7月	2月	12月	12月	10月	4月	10月	7月	3月	3月	1月	10月	3月	4月	9月	8月	8月	4月	3月	2月	4月	4月	2月	10月	7月	9月	4月	2月	4月	7月	7月	4月	5月	4月	4月	4月	10月	9月	12月	3月	12月	10月	7月	10月	8月			
全国都市緑化かわさきフェア(春)	全国都市緑化かわさきフェア(秋)	市制100周年	東海道川崎宿起立400年	新本庁舎完成	NECレッドロケッツが天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会で初優勝	政令指定都市移行50周年	多摩川スカイブリッジ開通	市役所通りの車道を歩行者空間化して実施したイベント「みんなの川崎祭」初開催	等々力球場リニューアルオープン	川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例全面施行	小・中学校にGIGA端末導入	JRR川崎駅北口通路・北改札の供用開始	川崎フロンターレのJ1リーグ初優勝を記念し、優勝パレードを開催	全市立中学校で完全給食実施	カルッツかわさき(スポーツ・文化総合センター)開館	市の人口150万人突破	川崎市役所旧本庁舎78年の歴史に幕	市のブランドメッセージを策定	JR南武線新駅小田栄駅が開業	橋樹官衙遺跡群が川崎市初の国史跡に指定	第1回区民車座集會開催	東海道かわさき宿交流館が開館	殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」まちびらき	川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム開館	青少年科学館(かわさき宙と緑の科学館)リニューアルオープン	浮島太陽光発電所運転開始	かわさきエコ暮らし未来館が開館	日本映画大学が開学	JR横須賀線武蔵小杉駅が開業	第64回毎日映画コンクール表彰式開催	川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)開催	人工海浜がある東扇島東公園が開園	カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCCかわさき)発表	アートセンター開館	川崎大会開催	第3回アメリカンフットボールワールドカップ	ラゾーナ川崎プラザ開館	川崎市市民会議条例施行	市立多摩病院が開院	サンキューコールかわさき開始	川崎市自治基本条例施行	ミュージザ川崎シンフォニーホール開館(市制80周年)	子ども夢パーク開設	全市立小学校にわくわくプラザ開設	人権オンブズパーソン制度運用開始	川崎市子ども会議発足	K2タウンキャンパス開設	子どもの権利条例施行	岡本太郎美術館が開館	男女共同参画センター(すくらむ21)開設	東京湾アクアライン開通	かわさき健康都市宣言	外国人市民代表者会議開始	韓国・富川市と友好都市提携	かわさきFM開局	廃棄物の鉄道輸送開始	どろろきアリーナ開館

2024 P
市制100周年・全国都市緑化かわさきフェア

市制100周年という歴史的な節目を、次の100年に向けた「あたらしい川崎」を生み出すスタートラインとして、多くの市民、企業、団体の人たちに参加してもらいながら、さまざまな主体の垣根を越えた力の掛け合わせにより、年間を通じて、多様で多彩な記念事業を展開していきます。また、市制100周年の象徴的的事业として、秋と春に全国的な花と緑の祭典である「第41回全国都市緑化かわさきフェア」を開催します。フェアをきっかけに、日常の暮らしの中にみどりが溶け込み、みどりを通して、人と人、人と暮らしが緩やかにつながり、心豊かな暮らしが広がっていくことを目指します。この市制100周年を契機に、多くの人たちに改めて「川崎を知って、関わり、好きになってもらえる」よう、さまざまな取り組みに挑戦しています。

2023 N 新本庁舎完成



2023 O 「みんなの川崎祭」初開催



2022 M
多摩川スカイブリッジ開通

川崎市で初めて、橋梁・鋼構造工学での優れた業績に対して授与される土木学会田中賞を受賞

2011 G 浮島太陽光発電所運転開始

37,926枚の太陽光モジュールが使用されており、年間発電電力量は、一般家庭約2千～3千軒分の年間使用電力量に相当します



2011 F
日本映画大学が開学

2011 H 川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム開館



2008 E 東扇島東公園が開園

首都直下地震発生時には「基幹的広域防災拠点」となり、緊急物資輸送拠点などとして活用されます

フランチャイズ・オーケストラ



©T.Tairadate/TSO

東京交響楽団

ミュージア川崎シンフォニーホールを活動拠点に、数多くの演奏会を行う他、市内での巡回公演など、さまざまな演奏活動を行っています。

名誉国際親善大使

ご自身の活動を通して、本市の国際的なイメージの向上に貢献していただいています。



中澤 弘さん
医師



ライナー・キュッヒルさん
バイオリニスト

かわさきスポーツパートナー



©KAWASAKI BRAVE THUNDERS

川崎ブレイベンダーズ
男子バスケットボール



©東芝ブレイブアレス

東芝ブレイブアレス
野球



©KAWASAKI FRONTALE

川崎フロンターレ
サッカー



©Fujitsu United

富士通フロンティアーズ
アメリカンフットボール



©Fujitsu United

富士通レッドウェーブ
女子バスケットボール



©NEC RED ROCKETTS

NECレッドロケッツ
女子バレーボール

川崎をホームタウンとするトップチームを「かわさきスポーツパートナー」に認定しています。ホームゲームへの市民招待や市内小中学生を対象としたスポーツ教室などを通じて、スポーツを楽しめるまちづくりや、市のイメージアップに貢献していただいています。

川崎市議会



市民の代表者である 市議会議員の活動により運営される市議会

市議会は、市民が選んだ市議会議員が、市のルールである条例やお金の使い道である予算、市議会に出される意見・要望などについて話し合う、市の意思決定機関です。年4回の定例会や必要に応じて開かれる臨時会があり、より詳細な話し合いをするために、5つの常任委員会が設けられています。また、市民に開かれた議会を目指すため、広報紙「議会かわさき」の発行や本会議と委員会のインターネット中継なども行っています。

名誉市民

市に関係が深く、市の発展などに卓越した功績を残し、市民に敬愛される方々です。



藤嶋 昭さん
科学者
(平成30年選定)
「光触媒」を発見。文化勲章受章

- (故) 金刺 不二太郎さん 元市長(昭和46年選定)
- (故) 伊藤 三郎さん 元市長(平成2年選定)
- (故) 圓鏑 勝二さん 彫刻家(平成3年選定)
- (故) 岡本 太郎さん 芸術家(平成4年選定)

市民文化大使

文化芸術・スポーツ分野で活躍されている方に市民文化大使をお願いし、市のイメージアップに貢献していただいています。



伊藤 多喜雄さん
民謡歌手



鵜澤 久さん
能楽師



大谷 康子さん
バイオリニスト



大矢 紀さん
日本画家



小原 孝さん
ピアニスト



国府 弘子さん
ピアニスト



佐藤 征一郎さん
声楽家



SHISHAMO
ミュージシャン



成田 真由美さん
パラリンピックメダリスト



パンチ佐藤さん
スポーツタレント



松本 利夫さん(EXILE)
俳優

かわさきスペシャルサポーター

市にゆかりがあり、若い世代を中心に支持を集める方が就任しています。市民一人一人に、川崎のことをもっと好きになってもらうことを目指して、市と一緒に活動していただいています。



SHISHAMO
ミュージシャン



sumika
ミュージシャン



KADOKAWA DREAMS
プロダンスチーム

市民オンブズマン制度

市民オンブズマンは、市民からの市政に関する苦情申し立ての処理や市政の監視などを、市民主権の理念に立って行い、必要に応じて、市長や市の関係機関に勧告・意見表明などを行い、行政の改善に努めています。

人権オンブズパーソン制度

人権オンブズパーソンは、いじめ、虐待など子どもの権利の侵害や、DV（ドメスティック・バイオレンス）、セクハラなど男女平等に関わる人権の侵害について相談や救済の申し立てを受け、関係機関などとの連携を図りながら問題解決に向けて活動を行っています。

市制10周年記念

川崎市歌（昭和9年制作）作詞／小林俊三 作曲／高階哲夫



YouTubeの川崎市チャンネルで視聴できます

一、見よ 東に 寄する 暁潮 富士の姿を 真澄に仰ぎ かがやく雲を いろどる多摩川 希望満つる 朝風 今ぞ明けゆく わが川崎市	二、東海道の おもかげいずこ 左右に展ぶる 大都の翼 高らかに打つ 文化の脈はく 科学に樹つ 朝風 勢い努めて 若き生命を	三、巨船つなぐ ふ頭の影は 太平洋に 続く波の穂 汗と力に 世界の資源を 集め築く 基礎 今ぞ輝く わが川崎市
---	---	---

市制60周年記念 川崎市民の歌

好きです かわさき 愛の街（昭和59年制作）作詞／肥後義子 補作／石本美由起 作曲／山本直純

一、多摩川の 明ける空から きこえる やさしい鳥の歌 ほほえみは 光のシャワー さわやかに ころろ洗うよ 新しい 朝は生まれて ひと 人びとの 軽い足どり 好きです 陽差しの 似合う街 好きです かわさき 愛の街	二、よろこびを 語る広場に きこえる やさしい花の歌 そよかぜは 緑のリボン あざやかに ころろ飾るよ 新しい 愛は生まれて わかち合う 胸のときめき 好きです みんなで 生きる街 好きです かわさき 愛の街	三、街並の つづく窓から きこえる やさしい愛の歌 まごころは 希望のリズム いきいきと ころろ弾むよ 新しい 時代は生まれて つなぐ手に 明日を夢みる 好きです 幸せ 灯す街 好きです かわさき 愛の街
---	---	---

市章（大正14年制定）

川崎市の市章は「川崎」の「川」の字を表すだけでなく、市民の歴史とともに流れ続ける多摩川と、それと同じように発展する「川崎」を象徴しています。



市民の花・市民の木（昭和49年制定）

市制50周年を記念して市民にゆかりの深いもの、親しみのあるもの、都市緑化にふさわしいものなどを考えて、市民投票で選ばれました。



かわさき健康都市宣言

心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることは、
私 たちみんなの願いです。川崎市に住み、働き、学ぶ
一人ひとりが手を携えて、かけがえのない健康をはぐく
んでいくために、次のことを行います。

- 私 たちは、「市民健康デー」をおおきく実らせ、進んで健康づくりに励みます。
 - 私 たちは、スポーツや運動に親しみ、食生活と栄養に気を配り、健康的なライフスタイルを身につけます。
 - 私 たちは、健康を支える温かな家庭、だれもが安心して暮らせる地域、思いやりあふれる社会をめざします。
 - 私 たちは、多摩川や海辺の潤いと多摩丘陵の緑などの恵みを健康に生かし、安らぎのある環境づくりに努めます。
- 細長く変化に富んで広がる川崎市は、私たちみんなのふるさとです。地域の隅々から元気な声が届くまで、明日に伸びゆく人間都市を創造していくために、ここに「かわさき健康都市」を宣言します。

平成9年3月25日 川崎市

核兵器廃絶平和都市宣言

真の恒久平和と安全を実現することは、人類共通の
願いである。

しかるに、核軍備の拡張は依然として行われ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

わが国は、世界唯一の被爆国として、被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを声を大にして全世界の人々に訴え、再びこの地球上に広島、長崎の、あの惨禍を繰り返させてはならない。

このことは、人類が遵守しなければならない普遍的な理念であり、我々が子孫に残す唯一の遺産である。

川崎市は、わが国の非核三原則が完全に実施されることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍縮を求め、国際社会の連帯と民主主義の原則に立つて、核兵器廃絶の世論を喚起するため、ここに核兵器廃絶平和都市となることを宣言する。

昭和57年6月8日 川崎市

世界に開かれたまち川崎

<p>友好都市 ①シェフィールド市 (イギリス) ■平成2年7月30日提携 ■人口約56万人</p>	<p>友好都市 ②リュベック市 (ドイツ) ■平成4年5月12日提携 ■人口約22万人</p>	<p>友好都市 ③ザルツブルク市 (オーストリア) ■平成4年4月17日提携 ■人口約16万人</p>	<p>姉妹都市 ④リエカ市 (クロアチア) ■昭和52年6月23日提携 ■人口約11万人</p>	<p>友好港 ⑤ダナン港 (ベトナム) ■平成6年1月24日提携</p>	<p>姉妹都市 ⑥瀋陽(しんよう)市 (中国) ■昭和56年8月18日提携 ■人口約915万人</p>
<p>友好都市 ⑦富川(ぶちよん)市 (韓国) ■平成8年10月21日提携 ■人口約81万人</p>	<p>姉妹都市 ⑧ウーロンゴン市 (オーストラリア) ■昭和63年5月18日提携 ■人口約22万人</p>				
<p>姉妹都市 ⑨ボルチモア市 (アメリカ) ■昭和54年6月14日提携 ■人口約58万人</p>	<p>国内友好自治体 ⑩中標津町 (北海道) ■平成4年7月9日提携 ■人口約2万3千人</p>	<p>国内友好自治体 ⑪富士見町 (長野県) ■平成5年4月22日提携 ■人口約1万4千人</p>	<p>国内友好自治体 ⑫那覇市 (沖縄県) ■平成8年5月20日提携 ■人口約32万人</p>		

COLORS, FUTURE! ACTIONS KAWASAKI 100th

川崎のどんなところが好きですか。お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。ひとりひとりの“好き”をつなぎ、かけ合わせて、いっしょに川崎を育てていこう。このまちに暮らし、このまちを発展させてきたたくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

2024年、川崎市は市制100周年



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市 ホームページ



川崎市 検索

川崎市 LINE 公式アカウント

市の重要な情報を LINE でお届けします



@kawasakicity

川崎市 シティプロモーション X

川崎が好きな情報が満載です



@kawasaki_pr

川崎市 シティプロモーション

Instagram



@kawasakicity_pr

川崎市市制100周年記念誌 カワサキノコト Colors, Future! いろいろって、未来。

令和6(2024)年4月発行

発行：川崎市総務企画局シティプロモーション推進室 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 TEL044-200-2287 FAX044-200-3915

制作：TOPPAN株式会社横浜営業所 〒220-0023 横浜市西区平沼1-39-3